

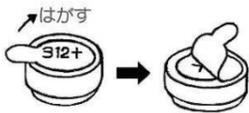
## 電池を入れます

■ 使用する電池は空気電池312型 (PR41) 1個です。

① 電池のシールをはがします。

使用を開始する時にシールをはがしてください。

■ シールが貼ってある面が+ (プラス) です。



② 電池フタを開けます。

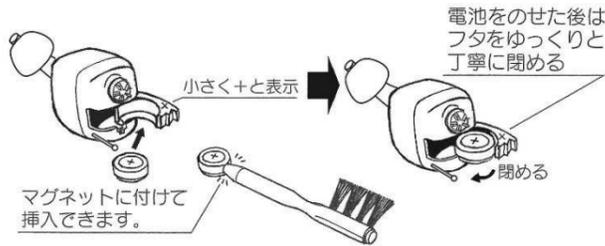
電池フタの突起部に爪をひっかけて丁寧に開けます



■ 電池フタの突起部に指先や爪を引っ掛けて、ゆっくり開けてください。

③ 電池フタを閉めます。

■ 開けた電池フタの上に、+面が上になるように電池を入れてフタを閉めてください。



### ～電池切れお知らせ音～

M-03は電池残量が少なくなると「ピポパ」という音が鳴ります。その後1分程度で「ポー」という音が鳴り、電源が切れます。このときは新しい電池に交換してください。

- \* 1ヶ月以上使用しないときは電池を取り出してください。
- \* 電池寿命は連続使用で約100時間から130時間です。(電池寿命は使用条件によって変わります。)
- \* 空気電池は湿ると動作しません。湿ったときは乾いた布でよくふき取ってください。
- \* 空気電池は冬場などの低温環境では本来の性能が発揮できず、新しい電池を使っても音が出ないことがあります。このときは、しばらく手のひらなどで温めてからご使用ください。

+-を逆に入るとフタが閉まりません。

無理に閉めると壊れてしまうので注意してください。

電池フタを開け、補聴器本体に直接電池を押し込まないでください。故障の原因になります。

万一電池が破損して中の液体が皮膚に触れた時は、すぐに流水で洗い流してください。

## 補聴器を装着します

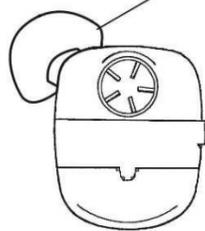
① 耳せん取付軸 (ジョイント) について

■ この補聴器の耳せん取付軸 (ジョイント) は 360 度回転するので曲がっている耳穴に沿うように挿入することができます。おさまりが良い位置に耳せん取付軸 (ジョイント) を回してご使用ください。

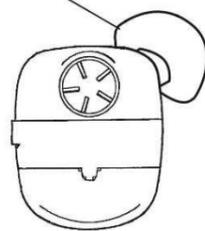
② 耳せん取付軸 (ジョイント) を回す。

耳せんが左斜め上になるように耳せん取付軸 (ジョイント) を回す

耳せんが右斜め上になるように耳せん取付軸 (ジョイント) を回す



左耳で使用する場合



右耳で使用する場合

■ 耳穴の曲がり具合によっては例外もありますので入れやすい位置に調整してください。

③ 装着

■ 親指と人差し指でボリューム位置を上に向けた状態で持ち、補聴器の向きを調整しながら装着してください。



## 補聴器をはずします

■ 耳たぶのうしろ、耳の付け根あたりのくぼみを指先で軽く2,3度押し上げて補聴器を押し出してください。

■ 押し出されてきた補聴器の側面を指ではさんで取り出すか、テグスをつまんで取り出してください。

耳たぶの裏側の付け根を指先で数回押し上げると補聴器が自然に外に押し出されます。



補聴器を装着したまま、絶対に入浴や洗髪はしないでください。

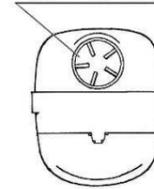
万一耳せんだけが耳の中に残ってしまった時は決して耳穴に指や細いものを入れて出そうとしないでください。かえって耳穴を傷つけるおそれがあります。あわてずに耳たぶのうしろ、耳の付け根あたりのくぼみを指先で何度か押し上げて耳せんを出してください。

## 電源とボリューム (音量) 調節

① 電源の ON (入) OFF (切)

■ ボリュームを反時計方向に回し、それ以上回らなくなった位置が電源 OFF (切) です。そこから、ボリュームをゆっくり時計回りにまわすと電源が入ります。

ボリュームを反時計方向に回してそれ以上回らなくなった位置が電源 OFF (切) の状態です。



■ 補聴器を外した時は切り忘れを防ぐため、電池フタを開けて電源 OFF (切) にしてください。

電池フタを開けて電源 OFF (切) にする



電池フタをあける時は必要以上に大きく開けないでください。故障の原因になります。

② ボリューム (音量) 調整

■ 音の大きさは、時計回りで大きくなり、反時計回りで小さくなります。

■ ボリューム操作は、人差し指か親指の腹でゆっくり回してください。



音量調節は人差し指又は親指の腹で押しながらかゆるく回してください。



ボリュームをつまんで回したり、爪でひっかけて回したりしないでください。故障の原因になります。

ボリュームをつまんで回したり、爪でひっかけて回したりしないでください。故障の原因になります。

長時間連続して使用すると、耳が疲れて言葉が聞きにくくなる場合があります。そのときは使用を中止してください。

## 耳せんの交換

■ ご購入時、本体には M サイズの耳せんがついています。

■ 耳せんが大きすぎる (小さすぎる) と感じたときには、付属の耳せん (S) または (L) に交換してください。

耳せんの内側にある取付口に耳せん取付軸 (ジョイント) の先端をあて、段があるところまでゆっくりと押し入れてください。



## お手入れ方法

補聴器本体は、付属の掃除用ブラシでご使用のたびにこまめに掃除してください。

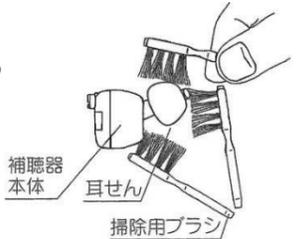
■ 補聴器の耳せん取付軸 (ジョイント) 取付部周りに汚れがたまった場合は耳せん取付軸 (ジョイント) をはずし、乾いた布で拭いてください。



■ 補聴器本体のマイク穴と電池フタも、汚れや耳垢が入ると音が入らなくなり、故障の原因になります。掃除用ブラシでよく掃除してください。



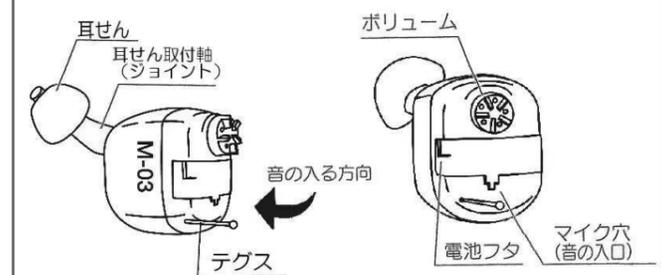
■ 耳せんは掃除用ブラシで掃除してください。それでも汚れが取れない場合は耳せん取付軸から外し、ぬるま湯で洗い、よく水切りをして乾燥させてからご使用ください。



\* 耳垢の性質には個人差があり、粘着性の強い耳垢の場合上記お手入れでは取れない場合があります。そのときは、新しい耳せんに交換してご使用ください。

補聴器本体は、絶対に水等に浸さないでください。

## 各部の名称



## 付属品

- ・化粧ケース
- ・空気電池 (PR41) ... 2 個
- ・掃除用ブラシ (マグネット付き) ... 1 本
- ・耳せん S・M (本体取付)・L ... 各 1 個
- ・耳せん取付軸 (ジョイント) (本体取付) ... 1 個
- ・取扱説明書 (保証書付)
- ・医療機器添付文書